

令和6年度 地域で支える特別な支援が必要な子どもたち
～ライフステージに応じた支援のために～

講演会

苦勞は幸せの前半分!

～発達障害の苦勞がギフトに変わる生き方～

発達に課題のあるお子さんを地域で支えていくために、市民、保護者、子どもたちに関わる方たちの理解と啓発を図るため、落語家 柳家花緑さんにお話を伺います。



柳家花緑プロフィール

1971年東京生まれ。
9歳の頃より落語を始め、中学卒業後に祖父である五代目柳家小さんに入門。
1994年、戦後最年少の22歳で真打に昇進する。
スピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、着物と座布団という古典落語の伝統を守りつつも、“洋服と椅子”という現代スタイルで新作落語や都道府県落語を口演する「同時代落語」など、落語の新しいスタイルへの挑戦をしている。
2017年に発売した著書にて、自身が識字障害(ディスレクシア)であることを公表。

日時

令和7年

2月15日(土)

14:00～15:40(13:30開場)

場所

笠間市立笠間公民館
大ホール(笠間市石井2068-1)

講師

やなぎや かるく
落語家 柳家 花緑さん

入場無料
事前申込制

先着 500名

問合せ

笠間市こども育成支援センター
☎ 0296-73-4721
✉ kodomosien@city.kasama.lg.jp

申込先

笠間市こども育成支援センター

または下記2次元コードより
お申し込みください。



主催：笠間市 共催：笠間市教育委員会